

萩ジオパーク

推進協議会だより

vol.56

萩ジオパーク推進協議会

| 2019年10月30日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject/>

萩ジオガイド養成講座、参加者募集中！



知識ではなく、感動が伝わる技術を習得しませんか？

昨年、萩ジオパーク初のジオガイドが誕生し、約1年が経ちました。今年からはジオツアーやジオガイドプログラムの案内役として、みなさん大活躍中です。ネイチャーゲームを駆使するなど、今までになかった体験型のガイドプログラムは小さなお子さんからご年配の方々まで、また時には海外の方々からも大変好評をいただいています。そんな活動を一緒にして下さる人を増やすべく、11月9日（土）～10日（日）の2日間で、再び萩ジオガイド養成講座を開催します！今年も昨年同様、講師に「一般社団法人をかしや」代表の菊間 彰さんをお招きします。

専門的な知識を詰め込んでお客さんにお話するのではなく、遊びや体験を通して感動とともにメッセージが伝わるガイドを目指します。この講座で習得を目指すのは「インタープリテーション」という技術です。これは、ガイドだけでなく、仕事や普段の生活の中で人に何かを伝えるときにも役立ちます。菊間さんは過去に万博会場のガイド養成をはじめ、全国を舞台に質の高いガイドを育てている方です。プロの技術を習得できるまでじっくり教えていただけるまたとないチャンスです！一緒にジオパークで感動体験を世界中の人たちに提供しませんか？多くの皆さんのお申込み、お待ちしております！

- 【開催日】 11月9日（土）・10日（日）
- 【時間】 9：30～16：00
- 【会場】 笠山椿群生林
- 【参加費】 無 料
- 【申込み】 萩ジオパーク推進協議会までお電話ください（0838-21-7765）

萩ジオアカデミー③ 大陸の巨大火山活動

10月6日（日）、萩ジオアカデミーの第3回「大陸の巨大火山活動」を開催しました。長門峡周辺を会場に、山口大学名誉教授の今岡照喜先生を講師にお招きしました。今回は、萩の大地をつくった3つのマグマ活動のうちの最初の活動で、約1億年前の日本列島がまだ大陸の一部だったころに起こった超巨大火山活動がテーマでした。午前中の座学では、マグマが大量に地上に噴き出している陥没地形「カルデラ」が、会場となった山口市阿東周辺に2～3ヶ所も確認されているという、これまであまり知られていなかった内容に、参加者の皆さんは驚かれた様子でした。阿東の「地球食堂」さんの地元食材をふんだんに使ったお弁当を昼食にいただき、午後はカルデラの痕跡を探す野外巡検でした。風光明媚な長門峡の景観は、1億年前の超巨大噴火でできた大地が削られてできていることを肌で感じるができる貴重な機会となりました。

今岡先生は萩ジオパークの講座に関わっていただき3年目になりますが、毎回参加者の皆さんの熱心さと質問のレベルの高さに驚くと仰っていました。こうした機会は先生の研究の原動力にもなっているそうです。これからもどんどん研究を進めていただき、みんなで萩の大地のことや地球のことを教えてもらいましょう。



1億年前の巨大噴火でできた岩石と、それを切り裂いた断層を観察する参加者



長門峡の奇岩は、巨大噴火で大量に噴き出したマグマでできていることがわかった

出前授業が大人気！



萩ジオパークでは、学校に職員やガイドが訪問して授業を行う出前授業を実施しています。今年の秋は例年に比べて依頼が非常に多く、子どもたちがジオパークの世界に触れる機会が増えてきています。総合的な学習の時間を使って地域の自然環境と人の暮らしを学ぶ郷土学習の一環として、講演や現地見学など様々な学習体験を提供しています。

10月1日（火）には、山口市阿東のさくら小学校6年生の理科「土地のつくり」についての依頼があり、白井専門員がおじゃましました。地域に特化した内容ではなく、学習指導要領に沿った教科書の内容を本格的に行うのは初めての機会でした。地学の研究に携わってきたからこそできる専門的な話も織り交ぜつつ、地層の作り方についての実験や岩石標本の観察など教科書の内容を体験的に学ぶ内容でした。児童からは常に質問が絶えず、授業終了後もまだ続けてほしいという声が出るほど。先生からも地学の分野は毎年苦勞するので、専門家にやってもらえて大変助かったとご好評をいただきました。早速、噂が広がり、次の日にはお隣の徳佐小学校から新たに前出授業の依頼がありました。

扱う学習分野が年々増えて現場の先生の負担が増大しているという話を聞きます。中にはジオパークのためにわざわざ時間をつくってくださる学校もありますが、専門分野や人材のネットワークを活かした本物の体験を児童や生徒に提供すると同時に、先生方の負担も減らせるように活動していきたいものです。

萩ジオパークでは、学校に職員やガイドが訪問して授業を行う出前授業を実施しています。今年の秋は例年に比べて依頼が非常に多く、子どもたちがジオパークの世界に触れる機会が増えてきています。総合的な学習の時間を使って地域の自然環境と人の暮らしを学ぶ郷土学習の一環として、講演や現地見学など様々な学習体験を提供しています。

10月1日（火）には、山口市阿東のさくら小学校6年生の理科「土地のつくり」についての依頼があり、白井専門員がおじゃましました。地域に特化した内容ではなく、学習指導要領に沿った教科書の内容を本格的に行うのは初めての機会でした。地学の研究に携わってきたからこそで

萩のジオパークってなんじゃろう会

「平蕨台で育った野菜は何故おいしいの？」

10/18

10月18日(金)、「平蕨台で育った野菜は何故おいしいの？」を開催しました。早朝より降り出した雨の中、ご参加いただいた17名の皆様、ありがとうございました。

メインは芋掘り。土の中の芋を探して、手元ばかりを気にしていると足元が埋まってしまう。

「粘土質の土ってこういう事なのか～」と、私自身、妙に納得しました。収穫後はそのサツマイモを使った、昼食作りやデザート作りを行いました。メニューは「豚汁、コールスロー、おにぎり」、デザートは「パフェ、いももち、芋きんとん」です。サツマイモだけでなく、お隣のむつみ地域の大根、田万川地域のブドウ、三見地区の塩など、萩ジオパークのおいしい大地の恵みを用意しました。お米や野菜、果物、農作物なら何でも揃う、山間地域。そして海が近い地域では調味料まで揃う!! 実際に、農家さんの口から野菜作りについてお話を聞いたこともプラスされ、より

「大地の恵み」に感謝して昼食をいただくことが出来ました。これからも、“参加者もスタッフもワクワクする”イベントを通して、大地に触れるきっかけづくりが出来たらと思っています。
(萩のジオパークってなんじゃろう会 磯野淳子)

←パフェの材料。童心に返り、みんな興奮



↑品川さんを囲み、楽しくお話をうかがいました

公式ジオツアー@平山台

「〇〇さんに会いに行こう～果樹農家さん編～」

9/28

9月28日(土)、萩ジオツーリズム協会主催の公式ジオツアー「〇〇さんに会いに行こう～果樹農家さん編～」を実施しました。「〇〇さんに会いに行こう～この大地で生きる“心”に出会う～」という企画は、平成30年の萩ジオプランナー養成講座終了後から練ってきたもの。農家さん、漁師さん、職人さん…。同じ場所で暮らしていてもそれぞれの立場で見えるものは違うはず。萩の人々は、萩の大地とどう向き合って、どう暮らしているのでしょうか。実際にその地で生きる人に会いに行き、その“心”に触れてみようというものです。

阿武火山群の火山のひとつ、平山台でブドウ栽培をされる品川さん。小川・平山台の台上は水がなく、稲作ができない場所であり、戦後、果樹栽培が始まりました。リンゴ、桃、ブドウ、梨、柿…。台全体では多様な果樹が栽培されています。品川さん自身はブドウをメインに、高齢のため廃業される農園を引き取るなどして徐々に他の果物にも手を広げているそうです。風除けに植えられた杉並木が山から猿を呼び込み、カメムシ発生を引き起こしている苦労話も興味深いものでした。

地球目線の健康ウォーク“ぶらっと阿東in地福”が開催されました！

10月23日(水)、山口市阿東地福で“ぶらっと阿東in地福”が行われました。これは、簡単に言うと「地球の目線で大地を歩きながら健康になろう」というウォーキング教室です。阿東保健センターの保健師さんから当協議会にお声掛けいただき実現したもので、山口市内から参加者約30名をお招きして地福地区を歩きました。地福の支所がある中心部の地形的特徴として『扇状地』があげられます。今回はその扇状地の地形(コース全長約2.5km)を歩きながら体感し、その地質の特性を活かした人の暮らしを白井専門員の解説とともに楽しみました。

扇頂には地福八幡宮があります。まさに扇の要となるところにその土地の神様が鎮座しています。扇央では水はけの良い土壌でリンゴ栽培が、裾野の扇端では水が湧き、家々が立ち並び、その下では広大な水田が広がっています。阿東名産の米とリンゴをつくる環境として扇状地の地形は「うってつけ」だったんですね。

この地福で始まった“ぶらっと阿東シリーズ”は、毎年阿東地域の各所で行おうと画策しています。次回はどこでぶらっとするのか。お楽しみです。

地球も人間も「ともに健康に」長生きしたいですね。



扇の要には氏神さまが祀られている？



道の高低や曲がりを意識して、元気に健康ウォーク！

萩ジオユニバース 『大地の遊び人養成講座 # 5』 地球と遊ぶサイクリング “バンブーバイク”に乗ろう！

11/30



今年から始まりました「大地の遊び人養成講座」。これまで、奈古でシーカヤック、キャンプ入門編、阿武川でカヌーを行ってきました。待望の第5弾は「サイクリング」です。舞台となる大地は阿東。太古の昔、湖の底だった広大な阿東の大地、徳佐から長門峡までの総延長26Kmを、シャフトが竹製の自転車“バンブーバイク”で爽快に走ります。

日時：11月30日（土）11時～15時 定員：10名（先着順）

参加費：3,000円（昼食代、保険代込み）

行程：徳佐駅（スタート）→徳佐盆地→リンゴ園→旧三谷小学校→道の駅長門峡（ゴール）＜全長約26kmコース＞

集合：徳佐駅（JR山口線）／解散：道の駅 長門峡

※ 集合場所と解散場所が違うのでご注意ください。アクセスはJR山口線が便利です。◆運賃は330円。

※ お車でお越しの場合、以下の行程をお勧めします。

①道の駅長門峡駐車→長門峡駅 10：23発→徳佐駅 10：54着

②徳佐駅（JA徳佐支所前）駐車→長門峡駅 16：13発→徳佐駅 16：40着

持ち物：運動しやすい服装、タオル、保険証、飲み物、リュック（降雨時は雨具。昼食は主催者が用意します）。

雨天時：小雨決行（中止の場合は、当日8時30分までにご連絡します）。

お申込み・お問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

11月の予定 - Information -

●**第10回日本ジオパーク全国大会おおいだ大会** 11月2日（土）11：00～11月4日（月・祝）14：00 場所：大分県大分市・豊後大野市 内容：大会テーマ「Wa!～「わ」を体験しよう～」のもと、驚き・感動の「ワッ!」、自然と人との調和の「和」、人と人とのつながりの「輪」を実感すべく、全国のジオパーク関係者が一同に会します。萩ジオパーク推進協議会も参加します。主催：第10回日本ジオパーク全国大会おおいだ大会実行委員会 問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）

●**萩ジオガイド養成講座** 11月9日（土）・10日（日）9：30～16：00 場所：笠山椿群生林展示室 内容等：詳しくは1頁参照。

●**萩ふるさとまつり** 11月9日（土）・10日（日）10：00～16：00 場所：中央公園特設テント 内容：萩ジオパークPRのブースを出展します。**お手伝いいただける方、絶賛募集中!!** 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）

●**モニタージオツアー「体感・萩ジオパーク」** 11月10日（日）10：00～12：30 集合場所：萩・明倫センター 内容：ネイチャーゲームなど五感を使って大地とつながるジオツアー。 定員：20名 参加費：無料 申込〆切：11月6日（水） 主催：萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）

○**geoとも（萩ジオ友の会）定例会「ジオ探訪」** 11月16日（土）9：30～16：00 集合場所：小川ふれあいセンターみのり 内容：小川地区の散策 参加費：実費 主催：geoとも 問合せ：geoとも西嶋（0838-26-6123）

●**大地の遊び人養成講座 # 5「地球と遊ぶサイクリング」** 11月30日（土）11：00～15：00 集合場所：JR徳佐駅 内容等：詳しくは上記参照。

●**萩ジオアカデミー講座 # 5「阿武火山群②」** 12月1日（日）10：00～15：00 場所：福賀公民館 内容：龍が通った道・伊良尾山の火山活動を中心に学びます。講師：清杉孝司（神戸大学講師） 定員：30名（定員に達しました） 参加費：1,000円 主催：萩ジオパーク推進協議会 問合せ：萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）

※●の行事に参加される場合は、必ず萩ジオパーク推進協議会事務局（0838-21-7765）までご連絡ください。

日本ジオパーク委員会の審査結果について

10月3日に日本ジオパーク委員会によるユネスコ世界ジオパーク国内推薦および日本ジオパーク新規認定の審査結果が発表されました。結果は以下の通りです。

Mine秋吉台ジオパーク：世界ジオ国内推薦【見送り】、日本ジオ【再認定】

桜島錦江湾ジオパーク：エリア拡大【保留】、日本ジオ【継続】

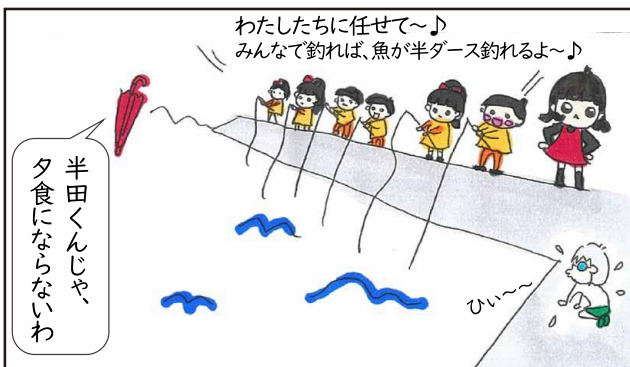
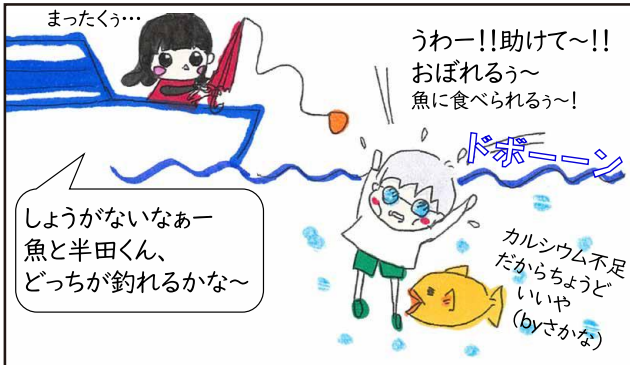
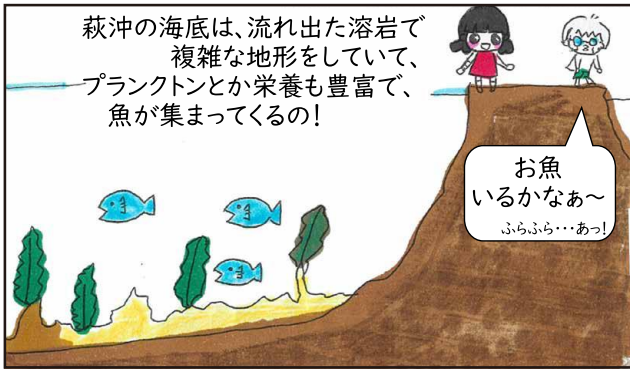
五島列島ジオパーク構想：日本ジオ新規認定【見送り】

この結果、日本ジオパークはこれまでどおり変わらず44地域です。詳しくは日本ジオパーク委員会のHP（<http://jgc.geopark.jp>）をご覧ください。

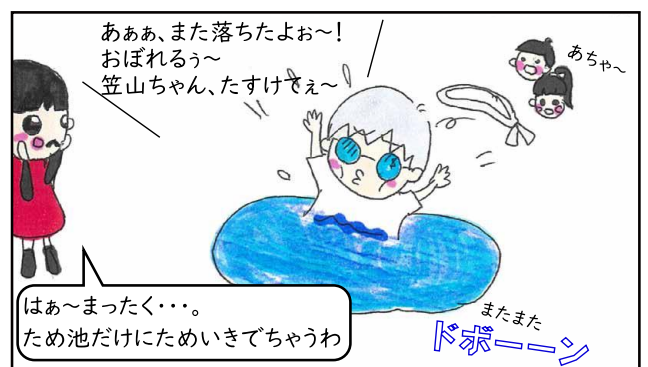
はんた がんばれ!半田くん

原作：わっきー教授 画：白玉だんご

第16話 魚がたくさんとれる理由



第17話 平らな島のおいしい恵み



わっきー教授のつづやき ~ひとこと解説~

10月は、ラグビーW杯で盛り上がりましたね。「ノッコーン」なんて叫ぶから、ラグビーで売っている特別なポップコーンかと思ったら、違うんですね。「逆転のトライ」というのは、某受験対策の会社とも違うことも、最近知りました。スポーツの世界はなかなか奥が深いですね。

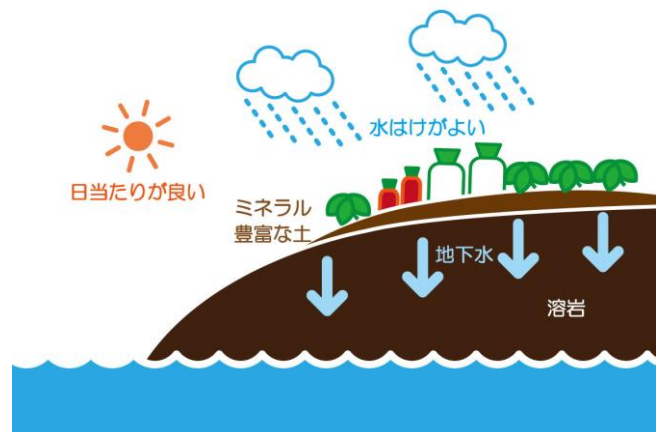
さてさて、今月も萩六島のお話です。萩六島は、火山からできていることを先月お話ししました。しかも、山口県唯一の活火山「阿武火山群」の仲間なんですね。萩沖に浮かぶその姿はとても、美しいです。でも、私たちが目にしている火

山の姿は山頂部のほんの一部で、地下には火山のすそ野が広がり、それぞれが立派な火山であることが海底地形から分かります。そして、それぞれの火山から噴出した溶岩などによって、海底は複雑な地形をしていることもよく知られています。複雑な地形は、魚のすみかを提供するばかりではなく、潮の流れによって、海底から海面に向けた上昇流を発生させ、プランクトンの餌となる栄養塩が海の表面に向けてもたらされます。そして集まってきたプランクトンを求めて、魚たちが群れを成してやってくるのです。こうして、火山による複雑な地形を有する萩沖は、非常にすぐれた漁場として、私たちに沢山の新鮮で美味しい魚たちを供給してくれます。これをジオの恵みと呼ばずして、何と呼ぶのでしょうか？本当に嬉しい限りです。しかし、ジオの恵みはそれだけではないことも、萩の六つ子ちゃんたちが教えてくれます。萩六島は、いずれも山頂部が平らです。さらに、水はけもよく、地下には、火山地形を利用して蓄えられた地下水がふんだんにあります。つまり、農業にとってとてもよい条件が揃っているのです。ですから、萩六島では、ブロッコリーや西瓜、夏みかんなど、多くの野菜や果物が収穫でき、地域の生活を支えています。これがジオの恵み、第二弾です。



大島を空から望む（写真提供：阿武萩自然史研究会）

でも、本当のジオの恵みは、この優しくて元気な六つ子ちゃんたちを育んだ、萩六島の存在そのものです。萩六島は、阿武火山群に属していて、次々に噴出した単成火山群の仲間です。普通の火山は、富士山のように何度も何度も同じ火口から噴火するのですが、阿武火山群は、噴火は一箇所一度だけで、次に噴火するときには別の場所に移動して噴火します。マグマが地下のマグマ溜まりから上昇して噴火したのち、その通路が詰まってしまう、次のときには使えなくなっているのでしょうか。次の噴火では、より通りやすい別の場所を探して移動します。これが単成火山群というものです。関東では伊豆に単成火山群があります。1回こっきりなので、火山は、比較的小さくてかわいい大きさです。阿武火山群はその多くが内陸部に分布していますが、笠山から萩六島にかけての地域は、海岸から海に向かって分布しています。これらの萩六島が、かわいい頭をちょこんと海面の上に出している萩沖の眺めは、とても美しく、愛しいものがあります。同じように愛しい萩六島の六つ子ちゃんの今後もみんなで見守っていきましょう。



阿武火山群（萩六島）で育つ農作物がおいしい理由